

# 目次

アインシュタインの教育観	一
アインシュタイン	一七
鼠と猫	四〇
或る日の経験	六九
寫生紀行	七九
笑	一〇八
案内者	一二四
斷水の日	一四一
夢	一五二



相對性原理側面觀	．．．．．	二八八
雜記(Ⅰ)	．．．．．	三〇三
子猫	．．．．．	三三五
浮世繪の曲線	．．．．．	三五二
言語と道具	．．．．．	三六〇
或る幻想曲の序	．．．．．	三六五
廿四年前	．．．．．	三六九
石油ラムプ	．．．．．	三七六
解かれた象	．．．．．	三八三
雜記(Ⅱ)	．．．．．	三九〇
地震雜感	．．．．．	四〇三
鏡屑	．．．．．	四一三

マ ル コ ポ ロ か ら	一五八
蓄音機	一六六
亮の追憶	一八八
一つの思考實驗	二〇八
茶碗の湯	二三一
塵埃と光	二三九
断片(I)	二四四
神田を散歩して	二四九
海陸風と夕風	二五八
秋の歌	二六二
電車の混雑に就て	二六五
異郷	二八〇

人の言葉——自分の言葉	五三七
日本樂器の名稱	五五三
土佐の地名	五六〇
比較言語學に於ける統計的研究法の可能性に就て	五六八
子規の追憶	五九六
スパーク	六〇一
雜感	六〇六
二科狂想行進曲	六一〇

裝畫 寺田寅彦

流言蜚語	四二九
二科會展覽會雜感	四三四
池	四四三
議會の印象	四五一
中村彝氏の追憶	四五八
二科會其他	四六二
路傍の草	四六八
書簡(I)	四八四
斷片(II)	四八六
備忘録	四九二
怪異考	五二八
昭和二年の二科會と美術院	五四〇